

包括だより

発行所

泉大津市地域包括支援センター

(泉大津市社会福祉協議会)

Tel. 0725-21-0294

元気の秘訣



池園町
浅井 吉隆さん
(91歳)

Q. いまだまをを振り返ってどう思いますか？

A. 戦争が終わった年で二〇歳でした。先輩たちはみんな先に特攻で死んでしまったけど、生き残った者としてケジメをつけるためにも拜んで思い出すようにしています。本が好きで特攻のことを書いているのが多いと思います。①モチベーション、心にハリがあること②エモーション、感動する気持ち③ポリシー、使命感を持つておくこと、この三つを大切に、生きている間は頑張っていきたいと思っこのままで来ました。車は八十九歳まで乗っていましたけど、世間がうるさいし息子にも言われましてね。六十年間運転してきたから、そこまで不安はなかったけれど免許証は返納しました。そこからは今も自転車に乗っています。最初一年は慣れずにおかしかったですけど、今はもう大丈夫です。

Q. 今の楽しみは？

A. 今もずっとダンスを続けています。ダンスをしていると姿勢もきれいに保てています。腰椎を骨折してよくここまで回復したと思います。アクティブな方で海外にも仕事の関係でよく行きました。勉強が好きで入院した時なんかはチャンスだと思っ勉強しました。妻が亡くなってからは調理師の学校へ行きました。自分が作ったものを人に食べてもらって、おいしいと言ってもらったのが嬉しいです。



Q. 元気の秘訣は何ですか？

A. 自分で何でもしたい方ですけど一人で自己管理をするのが難しいと思います。足が悪くなったら誰かの世話にならないといけないけど、社会や家族にも迷惑をかけないようにしたいと思っています。胃や腸を病気でとって死にかけたけれど、今こうして九十歳を過ぎ

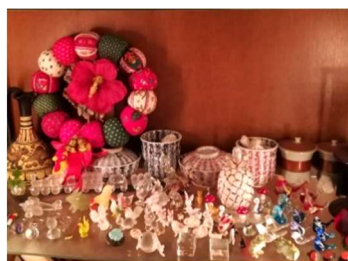
て消化器系は問題ありません。先祖に守ってもらっているのだと思います。



Q. 若い人へ一言お願いします。

A. 若い人とも話をしないといけないと思います。

話がわかるということは心が通じるところだと思っています。心が通じると嬉しいですよ。モチベーションをつかんでほしいです。海外へ行くのも良いと思います。先祖があっ自分がいいるというのを忘れずに、助け合っほしいです。自由も良いけど自己責任をもった自由であっほしいと思います。



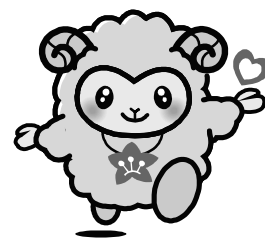
編集後記：日頃から活発に外出や趣味の時間をもつことが充実した毎日につながっているようでした。浅井さんの若々しいお姿をみて、このように年齢を重ねられたら良いなと思いました。貴重なお話をありがとうございました。

認	知	症	サ	ポ	ー	タ	ー
養	成	講	座				
受	講	生	募	集	!		

受講料無料

～ 広がれオレンジリングの輪（認知症の正しい理解）～

認知症について正しく理解するための市民向けの講座です。
認知症の症状や認知症の人への接し方を学ぶことができます。



とき

令和元年

6月25日(火)

13:30～15:00〔開場 13:00〕



初回受講者には、サポーターの証であるリストバンド“オレンジリング”をお渡しします。

ところ

ベルセンター2階研修室（東雲町9-54）

〔泉大津市立高齢者保健・福祉支援センター〕




対象者

泉大津市内在住・在勤で、これまでに本講座を受講したことのない方（定員30名・先着順）

申し込み方法

令和元年 6月10日(月)から地域包括支援センターの
窓口または電話にて申し込みを受け付けます。



 0725-21-0294